



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月31日 東

上場会社名 株式会社スターフライヤー 上場取引所
 コード番号 9206 URL <http://www.starflyer.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）松石 禎己
 問合せ先責任者（役職名）取締役執行役員 経営企画本部長（氏名）柴田 隆（TEL）093-555-4500
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,156	7.1	△330	—	△160	—	△189	—
26年3月期第2四半期	16,024	28.0	△1,436	—	△1,313	—	△1,318	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	△66.26		—					
26年3月期第2四半期	△460.15		—					

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成27年3月期第2四半期および平成26年3月期第2四半期はともに1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	21,865	1,726	7.9
26年3月期	24,124	1,919	8.0

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 1,726百万円 26年3月期 1,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,400	7.2	200	—	550	—	540	—	188.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	2,865,640株	26年3月期	2,865,640株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	55株	26年3月期	13株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期2Q	2,865,616株	26年3月期2Q	2,865,627株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は航空運送事業を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでいるため、セグメント別の記載は行っていません。

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、依然として厳しい競争環境や、急激な円安の進行など厳しい状況が続きました。このような状況下、当社は、前事業年度に策定した「S F J経営合理化計画(2013-2014)」を着実に実行し、当事業年度における黒字化を確実なものにすべく、取り組んでまいりました。

就航路線の状況は、「S F J経営合理化計画」に基づき実施した積極的な路線の改廃の結果、当第2四半期会計期間末において、国内定期便4路線30往復60便となりました。

(就航路線の状況)

路線	便数(日)	備考
国内定期路線		
北九州-羽田線	12往復24便	
関西-羽田線	5往復10便	
福岡-羽田線	10往復20便	※2
福岡-中部線	3往復6便	

※1 当第2四半期会計期間末における保有機材数は、10機となります。なお、当社の航空機材は、全てエアバス社A320-200を使用しております。

※2 平成26年10月26日より山口宇部-羽田線に3往復6便で新規就航し、同日より福岡-羽田線を7往復14便とすることから、国内定期便5路線30往復60便となります。

設備・施設面におきましては、新規投資は基本的には凍結する方針とし、当第2四半期累計期間において重要な設備投資はありません。

旅客状況につきましては、北九州-釜山線が運休したものの、平成26年3月から福岡-中部線が新規就航したことなどにより、旅客数は70万9千人(前年同期比12.0%減)、座席利用率は63.5%(同0.3ポイント減)となりました。

(運航、輸送実績)

項目	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減率
就航率(%)	99.3	99.1	△0.2pt
定時出発率(%)	93.3	90.9	△2.4pt
旅客数(人)	806,493	709,773	△12.0%
旅客キロ(千人・キロ)	739,551	689,574	△6.8%
座席キロ(千席・キロ)	1,158,781	1,085,725	△6.3%
座席利用率(%)	63.8	63.5	△0.3pt

(注) 1 上記輸送実績には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

2 旅客キロは、路線区間の旅客数に区間距離を乗じたものであります。

3 座席キロは、路線区間の座席数に区間距離を乗じたものであります。

貨物事業における貨物輸送重量は、北九州-羽田線、福岡-羽田線の総計で、9,027トン(前年同期比9.4%減)となりました。

附帯事業のうち空港ハンドリング業務については、引き続き羽田空港および福岡空港でのデルタ航空等からの定期便の受託のほか、北九州空港においては日本貨物航空株式会社から大型貨物定期便の受託を行いました。

一方、費用面につきましては、全体の輸送量（全日本空輸株式会社への座席販売分を含めた座席キロ）の増加にともなう航空機燃料費の増加のほか、円安で推移したことによる航空機材費などの増加および減価償却費の増加などにより、事業費ならびに販売費及び一般管理費の合計額である営業費用は、17,486百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の営業収入は17,156百万円（前年同期比7.1%増）、営業損失は330百万円（前年同期は営業損失1,436百万円）となりました。また、円安をヘッジするデリバティブ取引による為替差益を営業外収益として計上したことなどにより経常損失は160百万円（前年同期は経常損失1,313百万円）となり、四半期純損失は189百万円（前年同期は四半期純損失1,318百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態に関する分析

当第2四半期会計期間末の資産合計は21,865百万円となり、前事業年度末に比べ2,258百万円減少いたしました。

これは主として、J A08MCのセール・アンド・リースバック取引等によりリース資産が3,077百万円増加したものの、その他流動資産が1,427百万円、その他固定資産が3,667百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第2四半期会計期間末の負債合計は20,138百万円となり、前事業年度末に比べ2,065百万円減少いたしました。

これは主として、リース債務（流動負債および固定負債合計）が2,571百万円、営業未払金が1,139百万円、定期整備引当金が528百万円、それぞれ増加したものの、前受金が2,492百万円、短期借入金が1,208百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む。）が2,531百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は1,726百万円となり、前事業年度末に比べ192百万円減少いたしました。これは主として、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は3,811百万円となり、前事業年度末に比べ169百万円の増加（前年同期は55百万円の減少）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,264百万円のキャッシュ・インフロー（前年同期は480百万円のキャッシュ・アウトフロー）となりました。

これは主として、税引前四半期純損失が159百万円（前年同期比87.9%減）となったほか、未払金および前受金の減少により合計で2,989百万円の資金減少があったものの、減価償却費が702百万円（前年同期比82.0%増）となったことに加え、定期整備引当金、売上債権、前渡金、未収消費税等および仕入債務の増減により、純額で3,543百万円の資金増加となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、32百万円のキャッシュ・インフロー（前年同期は404百万円のキャッシュ・アウトフロー）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出が85百万円（前年同期比31.7%減）および無形固定資産の取得による支出が36百万円（前年同期比15.0%増）あった一方で、差入保証金の返還による収入が164百万円（前年同期は0百万円のキャッシュ・インフロー）があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,129百万円のキャッシュ・アウトフロー（前年同期は821百万円のキャッシュ・インフロー）となりました。

これは主として、J A08MCのセール・アンド・リースバック取引により3,619百万円の資金増加があった一方で、短期借入金の純減額、長期借入金の返済による支出およびリース債務の返済による支出の合計として、4,749百万円の資金減少があったためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

大手航空会社および中堅航空会社の更なる攻勢やLCC（格安航空会社）の規模拡大等による厳しい競争環境は継続すると考えており、また急激な円安の進行による費用増加の懸念もあります。

このような状況のなか、当社は、現在の路線に山口宇部ー羽田線（平成26年10月26日就航）を加えた、国内5路線30往復60便体制での収益最大化に注力しつつ、現在の経営合理化策の着実な実行と、継続した追加施策の検討を行ってまいります。

なお、平成27年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りで推移しており、平成26年5月9日に発表した業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,652,280	3,821,348
営業未収入金	1,647,707	1,165,605
商品	2,959	1,972
貯蔵品	268,526	284,876
その他	4,113,523	2,686,429
貸倒引当金	△18,069	△12,685
流動資産合計	9,666,928	7,947,547
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	8,125,189	11,202,219
その他	5,043,817	1,376,774
有形固定資産合計	13,169,007	12,578,994
無形固定資産	239,842	241,097
投資その他の資産	1,048,394	1,097,779
固定資産合計	14,457,244	13,917,870
資産合計	24,124,172	21,865,417
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,597,204	3,736,428
短期借入金	1,208,700	-
1年内返済予定の長期借入金	1,486,686	1,158,136
リース債務	656,310	899,840
未払金	1,495,154	1,004,399
未払法人税等	8,552	43,726
前受金	2,494,685	2,443
ポイント引当金	6,909	9,244
事業構造改善引当金	86,300	86,300
その他	431,615	809,136
流動負債合計	10,472,119	7,749,656
固定負債		
長期借入金	4,077,954	1,874,511
リース債務	6,394,911	8,723,304
定期整備引当金	863,638	1,392,315
その他	396,062	399,077
固定負債合計	11,732,565	12,389,209
負債合計	22,204,684	20,138,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,027	1,250,027
資本剰余金	1,013,583	1,013,583
利益剰余金	△975,062	△1,164,939
自己株式	△30	△104
株主資本合計	1,288,517	1,098,566
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	630,970	627,985
評価・換算差額等合計	630,970	627,985

純資産合計	1,919,488	1,726,552
負債純資産合計	24,124,172	21,865,417

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収入	16,024,556	17,156,443
事業費	16,240,103	16,443,866
営業総利益又は営業総損失(△)	△215,547	712,577
販売費及び一般管理費	1,221,110	1,042,944
営業損失(△)	△1,436,658	△330,367
営業外収益		
受取利息及び配当金	275	321
為替差益	216,173	342,644
その他	22,690	4,209
営業外収益合計	239,139	347,175
営業外費用		
支払利息	95,127	149,086
その他	20,659	27,919
営業外費用合計	115,787	177,005
経常損失(△)	△1,313,305	△160,196
特別利益		
固定資産売却益	-	1,578
特別利益合計	-	1,578
特別損失		
固定資産除却損	349	516
特別損失合計	349	516
税引前四半期純損失(△)	△1,313,655	△159,134
法人税、住民税及び事業税	5,429	31,210
法人税等調整額	△468	△468
法人税等合計	4,960	30,742
四半期純損失(△)	△1,318,616	△189,876

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△1,313,655	△159,134
減価償却費	385,930	702,516
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,414	△5,383
定期整備引当金の増減額(△は減少)	369,915	528,677
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,820	2,335
受取利息及び受取配当金	△275	△321
支払利息	95,127	149,086
為替差損益(△は益)	△52,198	△68,718
売上債権の増減額(△は増加)	△386,658	482,101
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,974	△15,362
前渡金の増減額(△は増加)	△108,156	506,467
前払費用の増減額(△は増加)	△116,375	29,352
未収入金の増減額(△は増加)	532,819	△93,928
未収消費税等の増減額(△は増加)	160,122	887,167
仕入債務の増減額(△は減少)	△503	1,139,223
未払金の増減額(△は減少)	76,973	△497,035
前受金の増減額(△は減少)	15,848	△2,492,242
その他	△14,979	296,579
小計	△345,803	1,391,380
利息及び配当金の受取額	292	321
利息の支払額	△96,871	△131,179
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△38,255	4,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	△480,638	1,264,591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△124,670	△85,194
無形固定資産の取得による支出	△32,137	△36,956
差入保証金の差入による支出	△247,785	△9,703
差入保証金の返還による収入	998	164,402
その他	△475	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△404,070	32,697
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,500	△1,208,700
長期借入れによる収入	1,900,000	-
長期借入金の返済による支出	△957,045	△2,531,993
セール・アンド・リースバックによる収入	-	3,619,565
リース債務の返済による支出	△130,443	△1,008,662
その他	-	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	821,011	△1,129,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,258	1,643
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55,438	169,068
現金及び現金同等物の期首残高	1,977,884	3,642,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,922,445	3,811,283

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、航空運送事業を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。また、経営資源の配分の決定や業績評価は、当社全体で行っております。したがって、事業セグメントは単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。